

調查票



一万人アンケートご協力をお願い

日頃は県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三重県では「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」をめざし、「県民が主役の県政」を推進することとしています。このことを着実に推進するためには、県民の皆様のご意見、ご要望等（ニーズ）を把握して県政に反映していくことが重要と考えており、毎年、一万人の県民の方にアンケート調査をお願いしています。

このたび、平成18年度のアンケートを実施させていただくにあたり、ご協力いただく方を選挙人名簿等から無作為に選ばせていただきましたところ、あなたが選ばれました。突然のお願いで申し訳ございませんが、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理しますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。また、調査・分析については、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しておりますが、その旨は徹底いたしております。

一万人アンケートは、日々の業務において県民の皆様からいただくご意見に加えて、県行政の各分野での県民の皆様のニーズを把握するためにご協力をお願いしている重要な調査です。また、今回の調査結果は、現在、検討を進めている「県民しあわせプラン」次期戦略計画（平成19～22年度）の策定にあたっても参考とします。

ぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成18年4月

三重県知事 聖昌昭彦

アンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

平成18年5月19日(金)までに

ご投函くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

このアンケートについてのお問い合わせはお気軽に下記までお願いいたします。

三重県政策部企画室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2025

担当 松崎、八太（はった）、丹羽

FAX 059-224-2075

Email kikakuk@pref.mie.jp



このアンケート調査は、次の４つのテーマで構成しています。

- １．三重県の住みやすさについて
- ２．分野別の４４項目について
- ３．地域の人々のつながりと活動に関する意識について
- ４．広報広聴活動について

最後に、自由にご意見を記入いただくとともに、あなたご自身のことについておたずねしています。

お手数をおかけしますが、御協力くださいますようお願い申し上げます。

（記入上のお願い）

- ・あて名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。事情により、ご本人様がお答えできない場合は、回答や返送の必要はございません。
- ・このアンケートは無記名式です。お名前、ご住所を記入いただく必要はございません。
- ・黒のボールペンや濃い鉛筆などでハッキリとご記入ください。
- ・お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。
なお、つけられる○の数は設問によって違いますのでご注意ください。
- ・記入漏れがないかお確かめのうえ、同封いたしました返信用の封筒に入れて、平成１８年５月１９日（金）までにご返送ください。

なお、ご回答いただきましたアンケートの集計結果につきましては
一万人アンケートホームページ

(URL : <http://www.pref.mie.jp/KIKAKUK/HP/itimannin/questionnaire.html>)
に平成１８年１０月頃掲載の予定です。



1. 三重県の住みやすさについての質問

問1 - 1 あなたにとって、三重県は住みやすい県ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問1 - 2 あなたは今後も三重県に住みたいと思いますか。(○は1つ)

家庭の事情などによるやむを得ない転居は除いてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 三重県内の別の場所に住みたい |
| 3. 県外に住みたい | 4. どちらでもよい、わからない |





2. 分野別の質問

問2 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。

あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。

また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足されていますか。

さらに、そうした行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

分野は44項目、6ページ分あります。項目数が多くなり申し訳ありませんが、記入例にしたがい、重要意識、満足意識、認知意識それぞれに○を1つずつつけてください。

※質問表は見開きの状態でご記入ください。

【 記 入 例 】		家族がそれぞれ自分の部屋を持てるような家に住むことができること。
1. 人権尊重		性別、出身地、障害の有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。
2. 生涯学習		誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。
3. 学校教育		児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。
4. 青少年の健全育成		青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけ健全に育っていること。
5. 高等教育機関		県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。
6. 市民活動		NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。
7. 文化・芸術		音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。
8. 歴史・文化遺産		文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。
9. スポーツ・レクリエーション		スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。
10. 地域での防災の取組		地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていること。
11. 災害対策		洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。
12. 交通安全		交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。
13. 防犯		犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。
14. 食の安全		安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。

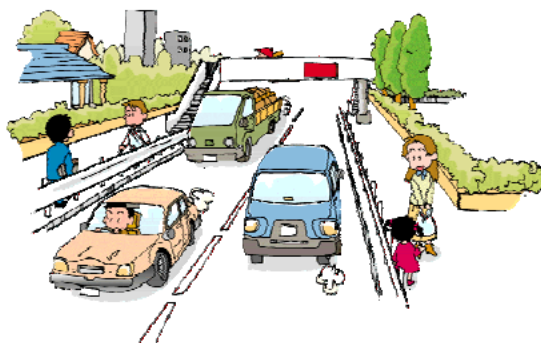
	重 要 意 識						→	満 足 意 識						→	認 知 意 識			
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
記入例	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
1	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
2	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
3	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
4	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
5	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
6	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
7	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
8	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
9	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
10	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
11	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
12	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
13	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
14	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4



※質問表は見開きの状態でご記入ください。

15. 高齢者、障害者の社会参加	高齢者や障害者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。
16. 保健予防体制	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。
17. 子育て環境	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。
18. 医療体制	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。
19. 福祉サービス	高齢者・障害者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。
20. 自然環境との共生	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。
21. 希少な生物	希少な野生動物や植物が保護されていること。
22. ごみの減量	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。
23. きれいな空気	空気が汚染されておらず、きれいであること。
24. 川や海の水質	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。
25. 地球温暖化防止	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出がおさえられたり、森林による吸収が高められていること。
26. 農林水産業の振興	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。
27. 産業振興	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。
28. 観光	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの人が三重県を訪れること。
29. 技術開発	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。
30. 地域商工業	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。
31. 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。

	重 要 意 識						→	満 足 意 識						→	認 知 意 識			
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
15	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
16	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
17	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
18	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
19	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
20	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
21	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
22	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
23	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
24	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
25	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
26	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
27	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
28	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
29	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
30	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
31	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4



※質問表は見開きの状態でご記入ください。

32. 職業能力開発	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。
33. 国際化	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。
34. 広域交流・連携	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。
35. 情報ネットワーク	ケーブルテレビ網やインターネットなどを利用して様々な情報を得ることができること。
36. 高速交通網	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。
37. 道路の整備	道路が整備され、快適に移動できること。
38. 公共交通機関	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。
39. 港の整備	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。
40. 快適なまちづくり	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。
41. 農山漁村づくり	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。
42. 過疎地域等の振興	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。
43. エネルギー	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。
44. 飲料水の供給	安心して飲める水が安定的に供給されること。

	重 要 意 識						→	満 足 意 識						→	認 知 意 識			
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
32	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
33	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
34	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
35	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
36	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
37	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
38	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
39	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
40	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
41	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
42	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
43	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4
44	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4

ご協力ありがとうございます。

質問が多くて申し訳ありませんが、もうしばらくお付き合いください。





3. 「地域の人のつながりと活動に関する意識」についての調査

地域の人のつながりに関する意識調査

人々の身近な生活の場としての地域は、そこに住んでいる人々の様々な交流や連携が行われる場です。個人のライフスタイルや価値観が多様化し、少子・高齢化の進展など社会環境が変化するなか、地域における人々の意識や活動も変化してきています。

ここでは地域における近所付き合いや地域活動などについての意識をおたずねします。

問3 - 1 近年、NPO(民間非営利団体)と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっていますが、あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか？(○は1つ)

1. 現在、積極的に参加している。
2. 現在、お付き合いで参加している。
3. 過去に参加したことがあり、また参加したい。
4. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない。
5. これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい。
6. これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい。
7. これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない。

→ 問3 - 3へ

【問3 - 1で、1～4に○をつけた方だけにおうかがいします。】

問3 - 2 どのような活動に参加されていますか。あるいは、参加されましたか。(○はいくつでも)

1. 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動
2. 福祉、介護、保健、医療の活動
3. 防犯パトロールなど地域の安全確保の活動
4. まちづくりなどの計画策定や維持管理などの協力
5. 芸術・文化活動
6. イベントの企画・実施
7. 国際交流
8. 消費者活動
9. 防災活動、災害支援
10. その他(具体的に:)

問3 - 3 あなたは、次のア～カの項目について、あなたの住んでいる地域の人を中心となって積極的に取り組むことが必要だと感じますか。(ア～オの項目について、○はそれぞれの番号に1つつ)

項 目	必要だと感じる	特に必要はないと感じる	わからない
ア．青少年の健全な育成	1	2	3
イ．子育て支援	1	2	3
ウ．高齢者への介護、福祉	1	2	3
エ．防犯や防災に向けた対策	1	2	3
オ．環境保全	1	2	3
カ．まちづくり、地域振興	1	2	3

「新しい時代の公」の取組についての意識調査

三重県では、県民一人ひとり、NPO、地域の団体、企業、市町村、県など多様な主体が力を合わせて地域をより良くしていくことや、その活動を「新しい時代の公」と呼び、その取組を推進しています。

「新しい時代の公」を推進することによって、県民のみなさんが主体的に地域について考え、意思形成し、地域をつくっていくという社会づくりを目指しています。

そこで、「新しい時代の公」の取組についておたずねします。

問3 - 4 あなたは、「新しい時代の公」という言葉を、知っていましたか。(○は1つ)

- 1．よく知っている。
- 2．言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない。
- 3．このアンケートではじめて知った。

問3 - 5 あなたは、このような「新しい時代の公」の取組を、どのように思いますか？(○は1つ)

- 1．大いに進めるべきである。
- 2．大切だと思うが、まず考え方を広めていくべきである。
- 3．今のところは必要とは思わない。



4．広報広聴活動についての質問

問4 - 1 あなたは、県が行っている施策や事業について、どこから情報を得ていますか？（○はいくつでも）

- 1．県の広報紙「県政だより みえ」など
- 2．新聞広告「広報みえ」など
- 3．三重テレビ「県政ウオッチング」（金曜日 22:15～22:30）
- 4．FM三重、東海ラジオ、CBCラジオ
「三重県からのお知らせ」「こんにちは三重県です」「三重県の窓」など
- 5．テレビ文字放送「広報の窓 三重県」
- 6．新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど
- 7．県庁関係のインターネットホームページ(<http://www.pref.mie.jp/>)など
- 8．その他（具体的に： _____）

問4 - 2 今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、どのような方法が良いとお考えでしょうか？次からお選びください。（○はいくつでも）

- 1．県の広報紙「県政だより みえ」の充実
- 2．県提供テレビ・ラジオ番組の充実
- 3．新聞広告の充実
- 4．報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実
- 5．県庁関係のインターネットホームページの充実
- 6．その他（具体的に： _____）

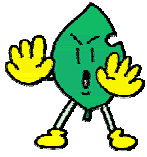
問4 - 3 「県政だより みえ」（各戸配布の県の広報紙）は、どの程度役に立つと思いますか？（○は1つ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1．役に立つ。 | 2．少しは役に立つ。 |
| 3．あまり役に立たない。 | 4．役に立たない。 |

問4 - 4 県民の皆さんの意見や要望をより一層県政に反映させるためには、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか？（○はいくつでも）

- 1．公聴会（意見聞き取り会）等の積極的な実施
- 2．インターネットによる意見反映制度（パブリックコメント等）の充実
- 3．アンケート調査等による定期的な県民意見の把握
- 4．県民提案（相談）窓口の充実
- 5．委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実
- 6．その他（具体的に： _____）

[illegible]



6．最後にあなたご自身のことについておたずねします。

長い間ご協力いただきまして、ありがとうございました。質問は以上ですが、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身のことをもう少しお聞かせください。

F1 あなたが現在お住まいの市町村はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1．津市 | 9．亀山市 | 17．菰野町 | 25．大紀町 |
| 2．四日市市 | 10．鳥羽市 | 18．朝日町 | 26．南伊勢町 |
| 3．伊勢市 | 11．熊野市 | 19．川越町 | 27．紀北町 |
| 4．松阪市 | 12．いなべ市 | 20．多気町 | 28．御浜町 |
| 5．桑名市 | 13．志摩市 | 21．明和町 | 29．紀宝町 |
| 6．鈴鹿市 | 14．伊賀市 | 22．大台町 | |
| 7．名張市 | 15．木曽岬町 | 23．玉城町 | |
| 8．尾鷲市 | 16．東員町 | 24．度会町 | |

F2 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1．男性 | 2．女性 |
|------|------|

F3 平成18年4月1日時点でのあなたの満年齢があてはまる年代をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1．20歳代 | 2．30歳代 | 3．40歳代 |
| 4．50歳代 | 5．60歳代 | 6．70歳代以上 |

F4 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|----------------------|
| 1．未婚 | 2．既婚 | 3．結婚後に離別(離婚・死別などによる) |
|------|------|----------------------|

F5 お子さんがいらっしゃいますか。そのお子さんはどの年頃ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|----------------|-------|
| 1．子どもはいない | 2．未就学児(小学校入学前) | 3．小学生 |
| 4．中学生 | 5．高校生・大学受験生 | 6．大学生 |
| 7．社会人 | 8．その他() | |

F6 同居されているご家族(あなたも含みます)の中に、65歳以上の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1．はい | 2．いいえ |
|------|-------|

F7 あなたは県外にお住まいになったことがありますか。(○は1つ)

1. ない

2. ある(通算5年未満)

3. ある(通算5年以上)

F8 現在の場所にどの程度の期間お住まいですか。一時期他の場所にお住まいだった方は通算で何年になるかお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満

2. 1年以上5年未満

3. 5年以上10年未満

4. 10年以上

F9 あなたの就業状況などについてお答えください。複数お持ちの場合は主なものを挙げてください。パート・アルバイトについては、最近一年間で最も長く従事されていた内容をお答えください。(○は1つ)

1. 農林漁業

2. 製造業

3. 商業・サービス業

4. 建設・不動産業

5. 運輸・通信業

6. 金融・保険関係

7. 医療・福祉関係

8. 教育・保育関係

9. 公務員(8の教育・保育関係は除く)

10. 学生

11. 無職(家事に従事する場合を含む)

12. その他()

アンケートは以上で終了です。長時間にわたり多くの質問にご協力いただき、ありがとうございました。

